

リスク評価、業務影響分析、業務継続戦略の例

- リスク評価

〇〇大学病院が想定する大規模地震は〇断層地震（Mw7.2 想定死者1,182名）

〇〇〇原子力発電所から西に〇〇kmに位置する

- 業務影響分析

〇〇大学病院の日常診療（1日外来数〇000名、手術件数〇件、病床〇〇〇床、稼働率〇〇%、職員数〇〇〇名体制）

〇断層地震による病院の影響は建物に中等度の被害がありうるため、日常診療が影響し、1-2週間の機能低下が見込まれる。

〇〇〇原子力発電所事故に伴うプルームの拡散に伴う直接的な被害はほぼゼロと見込まれる複合災害および放射線に対する懸念による職員確保低下に伴い病院機能低下が予想

- 業務継続戦略 優先業務

職員の安全確保、入院患者の治療継続、優先順位に基づく外来診療継続、

原子力災害拠点病院として、原子力災害関連の傷病者の受け入れ、病院・福祉施設からの避難者受け入れ、および危機広報